

7月4日（金）やさしい日本語

おおいたけん にほんごがっこう うんえい
大分県で日本語学校を運営して
いるおのくみこさんの話を紹介
します。おのさんのがっこうのせいと
しゃかいじん けんない だいがく りゅうがくせい
社会人や県内の大学の留学生で
す。なかには、せんそうで、じぶんくから
に逃げてきた人もいたそうです。

おのさんは、がいこくじん はな
小野さんは、外国人と話すときは、やさしい日本語を使う
ことをすすめています。たとえば『生年月日は？』と聞かれて
りかい できないなかったがいこくじん たんじょうび
理解できなかった外国人に、『誕生日はいつですか』と質問
すればこたえられたこともあるようです。

「やさしい日本語」のコツは、「ハサミ」だそうです。

ハ あいまいな表現を使わずに「はっきり」言う

サ 文の「最後」まできちんと言うこと

ミ 一文を「短く」して言うこと

やさしい日本語のコツ、ハサミ。これは、にほんじんどうし
だいじ 大事なことだと、わたしおも
重要なことだと、私は思いました。はっきりと、最後まで、
みじか 短く言う。ともだち はな さんこう
短く言う。友達と話するときの参考にしてもらいたいです。

村越 新

